



# 子どもたちはもっと輝く!



大阪府立佐野支援学校  
センター室だより

No. 9

## 「かず」の指導 <基礎編>

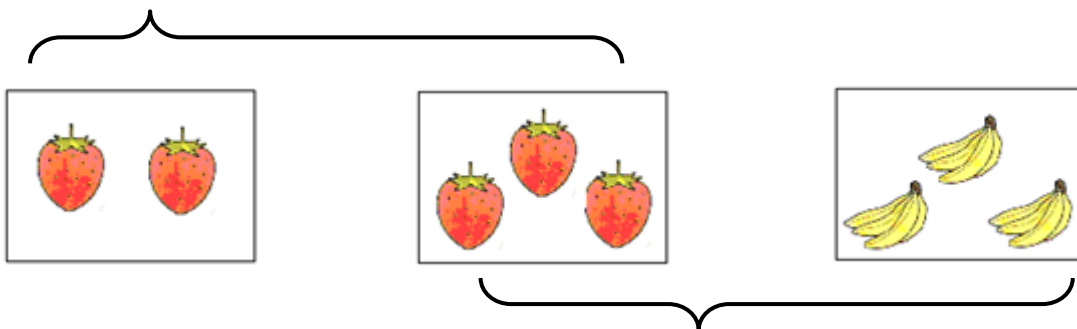
昔、子どもたちにどのように「かず」を教えるか大変悩みました。何が「1」で何が「2」なのか、抽象的思考が苦手な子どもたちには手掛かりがないのです。つまり

**「子どもたちは、自分で気づかないとわからない」**

ということなのです。

だから「かずの概念」や「数量の指導」には、子どもが自ら気づく仕組みが必要です。例えば、この3枚のカード。

(同じイチゴ)



(同じ数量)

これらを使って、「同じもの集め」の学習をする中で、「どこが同じ?どこが違う?」といったやり取りをするだけで、だいぶ気づきが増えてきます(実際の授業ではこのようなカードをたくさん作り、同じものを見比べて探すことで習熟を深めます)。